

2017年度小中島支部総代会議が行われました ~H29.5.20~

《 総会を終えて 》

今年は組合員（35名）、職員（14名）の参加でした。まずは受付で、阪神医療生協のシンボルマークを選ぶイベントがありました。結果は総代会までお楽しみに！

はじめに山崎所長の挨拶があり、遠くへ行かなくても近くで安く診療を受けることができる様にしたい。外来スタッフも人員や動きも安定して来ており、各部署が“かかりやすい診療所”をめざし工夫しているということ、そして最後に、組合員のボランティア活動に支えられ、今後も頑張っていきたいと力強いお話がありました。

今年度の重点ポイントは、地域でつながる、声掛け、気づきです。ニュース配布者協力者や、ふれあい・支えあいグループを増やし顔の見える活動をしていきます。また、組合員拡大にも力を入れていきます。きらめきセンターの運営やボランティア活動を通じて、声掛けしやすい体制を作りますと提案され拍手で承認されました。組合員活動の紹介は、各自が発表し、顔の見える紹介になり良かったと思います。総会後は、むげん会議と交流会を開催。3つのグループに分かれ、とても、なごやかで活発な意見交換の場となり有意義な時間となりました。もっと、もっと沢山の方と話し合える場が必要だと感じました。“いいたいこと”“聞きたいこと”“悩んでいること！”など、そして何をしたらいいのかは、次に出て来ると思いました。



市榮 香代子

～交流会で出た意見の一部です～

テーマ:どんな支部にしていきたいですか!

- ・顔と顔の見える関係づくりを広げていきたい。
- ・地域とより密着した支部にしていきたい。

テーマ:支部と、どう関わっていきますか!

- ・自分の出来る事からボランティアなど関わってきたい。
- ・支部の行事やニュースの配布に積極的にかかわってきたい。

～お花ボランティア～ 園田苑のお庭でお茶会



4月25日、園田苑の園庭にてお茶会が開かれました。参加者は、挿し木について学び、園庭に咲くさまざまな種類のお花を観察してまわりました。

その後に、みんなで楽しくお話をしながらお茶会をしました。青空の下、きれいな花々に囲まれてとっても素敵なお茶会となりました。



きれいなお花がいっぱいやね～！



小中島診療所 : 06-6491-5138
 キッズケアハウス : 06-6491-7711
 訪問リハビリテーション : 06-6491-8778
 居宅支援事業所 : 06-6491-9696
 サポートセンターゆんたく : 06-6491-8030



発行: 阪神医療生活協同組合
 小中島支部 支部長 西尾 清
 尼崎市小中島2-8-8
 TEL 06-6494-2161
 FAX 06-6494-3087

組合員さんによる対談企画 ● 今回のテーマは『ボランティアについて』です。ボランティア活動に関わりだした若い世代の方達がボランティア歴29年目の大先輩にお話しをお伺いしました。

(司会:小池さん…以下 小 対談 胡摩田さん…以下 胡×久世さん…以下 久)

小「胡摩田さんがボランティアをはじめたきっかけは何ですか？」

胡「園田苑が建つ時にボランティアの募集をしていて、私は子どもの小学校のPTAの仲間から声がかかり、ボランティアグループ『園(その)』の一員になりました。『園』の活動も今年で29年目になるんですよ。」

久「29年目ですか!それはすごいですね!」

小「こんなにも長い間活動が続いている秘訣を是非教えてくださいたいです!」

胡「何でしょうかね〜?『園』の場合は、リーダーの方達がしっかりとみんなを引っ張ってくれました。グループの仲間同士の関係もよくて活動を通して絆も深まっていきました。信頼関係もできていたから自然な流れで今まで続いてきたのかなと思います。」

小「活動を通して素敵な仲間ができたのですね。女性も社会に出て働くことが増えている時代ですが、若い世代の方達にもっとボランティアに興味をもってもらうにはどうしたらいいでしょうか？」

胡「私は、PTAの活動もボランティアの第一歩だと思っていますよ。そこから社会との関わりが増え、友達もできます。だから今の若い世代の方達は、PTAの活動を嫌がらずに、進んで手を挙げてみてほしいですね。そしてそこでいろんな経験をしてほしいです。」

久「私は、子育てに専念する中で社会との繋がりがなくなっていくのを感じていました。すると外に出るのをだんだんおっくうに感じたり…。そんな中で子育てサークル『子ネット』に参加する事や、『きらめきわくわくチャレンジひろば』のボランティアに関わる事が外と繋がるきっかけになりました。」



小「ボランティアの活動が社会と繋がるきっかけになったのですね。そういえば久世さん、夏休みに子ども達を集めてラジオ体操をしたって前に言っていましたね!」

久「そうなんです!私達が小学生の頃は、子ども会でラジオ体操が毎日ありました。今、私の住む地域には子ども会がなくて残念に思っています。私自身が子ども会の中で育ち、すごく楽しい思い出がたくさんあるんですよ。だから地域の子も達にも体験させてあげたいです。まず夏休みに子ども達を集めて、ラジオ体操からはじめてみたいですね。」

胡「それ、いいですね!『夏休みラジオ体操の会』地域にチラシをたくさん貼って宣伝して、亀田公園あたりがいいんじゃないでしょうか?まず、やってみる事!これが大事ですよ。」

久「なるほど!胡摩田さんが言うと、すごく説得力がありますね!」

小「最後に、胡摩田さんにとってボランティアとはなんですか？」

胡「私にとってボランティアは生活の一部になっています。幼少期に自分は地域の人々に助けられ育てられたという思いがあり、自然と自分の中に“大きくなったら世の中に恩返ししよう”という思いがありました。それと、私自身が人のお世話をするのが好きなのでしょうね!」

小「胡摩田さん、久世さんありがとうございました。今の世の中は便利な物で溢れ、物には恵まれていますけど人と人との繋がりが乏しくなっていると感じています。今の時代の子も達にも、昔のような温かい人と人との繋がりを知ってもらいたいですね。」



久世さん…3児のママさん。子育てサークル“子ネット”のメンバー。現在、診療所のお花ボランティアや夏休み開催される“きらめきわくわくチャレンジひろば”の実行委員として活動されています。



夏休みにきらめきセンターの1階を開放し、地域の子も達が集まれる場所をつくります。地域の皆さん、子ども達、是非遊びにきてくださいね!

胡摩田さん…ボランティア『園』の創立メンバーであり、現在まで幅広く地域活動をされています。今年から小中島食事会の代表をされています。



小池さん…2児のママさん。子育てサークル“子ネット”の代表。夏休み開催される“きらめきわくわくチャレンジひろば”の実行委員長を務めます。

小中島診療所 職員紹介★インタビューリレー★

★きらめきニュース編集部では、地域の皆さんにもっと小中島診療所のことを知ってもらいたい！という思いを込めて、皆さんにご紹介させていただきます！

～訪問リハビリの松岡 梓(あずさ)さんの紹介です～

Q.これだけは譲れない、大好きなもの、大好きなことを教えてください！

昔、実家で犬を飼っていたので犬がすごく好きです。訪問でまわっているときも、散歩している犬がいたらいつもながめています。

Q.小中島のここが好き！ここが素敵！！と思うところを教えてください。

訪問から診療所に帰って来たとき、皆さん声をかけて下さるので気持ちよく仕事が出来ています！

Q.診療所のどこに行けば会えますか？

小中島診療所2階の東側のスタッフルームにいます。訪問時は、緑の自転車で小中島～園田北部までまわっていますよ。

Q.最後にニュースの読者に一言お願いします。

自転車で小中島周辺もまわっているのだから、見かけたら気軽に声をかけてください。



矢田さん

松岡さん

～インタビュー医療事務の矢田さんより～

松岡さんは、いつも笑顔で挨拶をしてくれます。頼み事をしても快く引き受けてくれるので、いつも助かっています。

～私だけが知っているこんな一面！～

去年、車の免許を取り、休みの日には車で出かけているそうです。おとなしい方かと思っていたのですが、アクティブな方でした。

小中島診療所で院内ボランティアがはじまります！



昨年、図書サロンあじさいで、小中島診療所の待ち時間が長い問題が話題になり、私たち組合員で何かできないかしら？からはじまった「院内ボランティア」が年を越えていよいよ本格化しました。

きらめきニュースでボランティアを募集、4月26日「院内ボランティア説明会」が参加者7名で開催されました。川久保事務長から生協の基本理念をお聞きした後、意見交換。「院内ボランティア」って、いったい何をどうするの？からはじまって、忌憚のない意見や質問を出し合いながら理解を深めました。

参加者の総意は“とにかく始めましょう”でした。まずは看護師さん、受付事務の方々と話し合うことになりました。

5月10日看護主任、医療事務2名の方々と話し合いの場を持ちました。待合室での活動内容について、意見交換をした結果、一定の約束事が決まりましたので、まずは週一回、水曜日午前中から始めることになりました。

6月7日(水)の午前中より、ボランティアが待合室でお待ちしています。ボランティアが待合室に入ることによって、待ち時間が短くなるわけではありませんが、患者さんの傾聴など心がけながら、長く感じない待合室の雰囲気づくりを目指します。

どうぞ宜しくお願い致します。

坂本 敬子



わが家のかぞく！ご紹介



本名は中村山櫻桃(なかむら ゆすら)と申します！2002年6月15日生まれ。もうすぐ15歳になります。好きな物はイケメン♡嫌いな物はお風呂に入る事です。

住まいは園田苑で365日朝から夕方まで、支援センターへ勤務しています。15歳でもセンターの看板娘ですよ！



～ゆすらのいる地域包括支援センターのご紹介～

皆さん、「園田南」地域包括支援センターをご存知でしょうか？

私たちの担当するエリアは、上坂部、瓦宮、口田中、小中島、下坂部4丁目11～13番、戸ノ内、戸ノ内町、若王寺、東園田町8～9丁目、東塚口町、御園、南塚口町1～4丁目・5丁目1～12番・6丁目1～9番 になります。

地域包括支援センターでは、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師や看護師が中心になり、お互いに連携を取りながら活動しています。介護に関する心配や悩み以外に、高齢者に関することで、健康や生活のことなどもご相談ください。「どこに相談したらよいかわからない」といった相談内容でも、地域包括支援センターで受け付けています。お気軽にご相談ください。

園田南地域包括支援センター

住所：小中島2丁目10-20 連絡先：06-6494-8087

～組合員の皆さんのかわいいペットを是非紹介してください！～

いきいき百歳体操始めました

私たちは、毎週木曜日午後1時から約40分間きらめきセンター1階で体操をしているグループです。

内容は、DVDの映像に合わせて行う筋力アップの体操です。手首、足首にバンドやおもり(200g～1kg)をつけて、イスに座ったままで行います。

この運動の良い所は、年齢や体力に関係なく、おもりを調整しながら無理なく出来ることです。毎週一度、顔を会わせて皆で「イチ、ニイ、サン、シイ」と声を出し合っていて楽しくしております。道具は市の包括支援担当課よりお借りしています。

西本 祥子



きらめきニュース折込み・配達ボランティア募集中!

折込み: 次回は、8月1日(火)
2日(水)

10時～12時・14時～16時
小中島診療所3階

配達: ご近所1件だけでもお渡しいただける方。

30分だけでもお手伝いお待ちしております。

通常総代会のお知らせ

総代の皆さまはご出席をお願いします。

2017年6月18日(日) 9:30
ところ: 園田地区会館 12:30

※案内は、後日配布します。